

10509その他の家具・装備品製造業における死傷災害100事例（-2017年）

No	年	月	発生 時	死傷災害事例	年 齢	事 故 の 型	起因物 (小)	労働 者規 模
1	2017	12	13~14	レーザー加工機、材料クランプ位置を調整中、誤って足元の操作ペダルを踏み、降りてきたクランプに右手薬指を挟まれ、薬指先端より第一関節の間1/3部分を開放骨折した。	57	7	159	50~ 99
2	2017	11	16~ 17	MDFに無垢材を貼り合わせた材に溝を入れる作業を昇降盤という機械で行っていた。左手で材料を押さえ、右手で当て木を持って溝入れを行っていた際、当て木が刃物に弾かれてその衝撃で右手が滑り刃物に接触してしまった。	29	8	131	300~ 499
3	2017	9	13~ 14	タッカー（針で固定する工具）を使用して、ベッドの枠付け作業をしていたところ、タッカーで右手人差し指を貫通した。	36	8	169	—
4	2017	8	16~ 17	工場内の丸のこ盤で木材加工中、部材に掘る溝の幅を確認するため、切り落としの木材を使って、刃物の奥側から手前に少し戻したときに、部材と押さえていた左手が引っぱられ、左手指が刃物に当たり負傷した。	35	8	131	10~ 29
5	2017	8	8~9	工場内で製材加工中、製材機で原木を曳いているとき、製材機に溜まった木屑を取るため、鋸に手を近づけたところ、左手小指付近を鋸で切傷した。	68	8	132	1~9
6	2017	5	11~ 12	当社工場にて昇降盤を使用し、額材4本を製作するための木材2本の引き割り作業中、本来鋸刃を材料の高さの55%程度とし、二度に分けて作業すべきであったにもかかわらず、そのまま引き割りしたため材の振動が発生し、とっさに左手で	34	8	131	10~ 29

				押さえようとして鋸刃に接触し負傷した。				
7	2017	5	12~ 13	正午の休憩時間となったので、社屋の外階段3階から2階へ降りて移動している際、当日の雨で階段が濡れていた為、足を滑らせ転倒し、階段部分に臀部を強打し受傷したものである。被災時より痛みはあったが、時間の経過とともに回復すると思いき様子を見が、痛みが続いた。	38	1	413	10~ 29
8	2017	3	16~17	工場内にて木材加工のカットをしていた時に、端材を取り除こうとしたところ、誤って人差し指を負傷した。	62	8	131	10~ 29
9	2017	3	8~9	当社工場内で、人天蓋用の部材（25mm×25mm×長さ900mmの角材）を傾斜版にてカット中、右手で手前の角材を送り用の道具で押し、左手で前方の角材がぶれないよう押さえていたところ、角材に固いところがあったのか、手前に高速で押し戻されたため、押さえていた左手指部が刃に触れ、左手親指・人差し指・中指・薬指を負傷した。	76	8	131	1~9
10	2017	3	10~11	当社工場内において、木材製品加工中、誤って丸のこ9回転刃に左手親指・人差し指・中指が触れ負傷した。	30	8	131	10~ 29
11	2017	3	10~11	建具取りつき作業を行う現場で、車がパンクしてしまい、修理業者を呼んだりしていたせいで施工作业も遅れてしまい、気持ちが焦っていた。修理業者が到着するまで少しでも作業を進めようと、狭い場所でしゃがんで作業をしていたとき、修理業者が到着したことに気がつき、無理な体勢のまま急いで立ち上がろうとしてしまい、バランスを崩し、腰に激しい痛みがはしった。	39	19	921	10~ 29
12	2017	2	14~15	昇降板で角材（300×140×400）をカットする作業中、左手親指が刃に接触し、負傷する。	46	8	131	30~ 49
13	2017	1	21~ 22	工場内で材料を切断するパネルソーの刃物を電源を切り、カバーをはずし新しいものに取り換える作業中、誤って刃物に触れ負傷した。	22	8	131	100~ 299

14	2016	12	14～ 15	書籍の入ったダンボールを両手で抱えて配達している途中、北側校舎2階と西側校舎2階を結ぶ渡り廊下を小走りで移動していた際に、左足を滑らせ前のめりに転倒。両手がふさがっていて受け身が取れなかった為、右胸を床に強打し、肋骨を骨折した。	56	2	417	1～9
15	2016	10	15～ 16	塗装室でエアガンの掃除中に詰まりの確認をしようとしたらシンナーが逆噴射し、目に入り負傷した。	50	12	169	1～9
16	2016	9	9～ 10	工場内に於いて、手押しカンナで15ミリ×38ミリ×2000ミリの木材を加工中、カンナに右手中指が触れ負傷した。	63	8	133	10～ 29
17	2016	9	8～9	工場のダイレクトポストフォーム機で、始業時の清掃をしている際に、普段は設備をとめて作業をしているが、その日は設備が動いたままの状態、トリミング刃のカバー裏の接着材を指でとりにいった際、動いているトリミング刃に左手中指が接触し、切創した。	33	8	139	100～ 299
18	2016	9	13～ 14	工場でルーターという機械を使って木材を削る作業中に、湿気が強く木材が滑らず、右手の中指と人差し指が機械に入ってしまった怪我をした。	44	8	135	1～9
19	2016	7	16～ 17	工場内規格合板作業場にて、接着剤塗布用ロールコーターの清掃作業中、拭き取りを禁じられている材料投入口下部ローラーの上側に触れた為、巻き込まれ負傷した。	56	7	139	30～ 49
20	2016	7	10～ 11	作業終了時、刃物のカバーに残ったゴミを取る際に、刃物が停止する前に手を持って行き、右人差し指を切った。	24	8	131	10～ 29
21	2016	6	11～ 12	事業所内にて、横切り昇降盤で木材の切断作業をしているとき、誤って刃物に指が接触し、左手示指、中指を切った。	27	8	131	1～9
22	2016	6	9～ 10	縁貼り機で棒材の木口面にシートを貼る作業にて品物と押さえローラーに指が挟まり指を引いた際、右手人差し指・中指・薬指の内側を品物で切ってしまった。	19	8	139	50～ 99

23	2016	5	7~8	所定時間より少し早く事務所についたので準備を始めた際、段差のある所で荷物の出し入れをしていた時、上にあがろうとして左足を重心にして右足からあがった時、左足ふくらはぎに切れた感じの痛みを感じた。	61	19	419	1~9
24	2016	4	16~17	工場にて、角材タテ3cm×ヨコ20cm×厚み2cmにボール盤で、穴を開けていたら、その角材と一緒にキリに巻き込まれ左手親指と人差し指の間を負傷した。	64	7	134	1~9
25	2016	4	9~10	工場にて建具製作の作業中、電動建具横切り盤を使用して切断した木材を取ろうとした際に、本来は切断後に横切り盤の台（移動式）を手前に引き戻して回収するところ、引き戻さずにそのまま回収しようとした為、回転している刃に左手中指が触れて負傷した。	26	8	131	50~99
26	2016	3	10~11	商品の養生、梱包をしている際に、商品が重量物であった為に持ち上げた時に腰に負荷がかかり腰に痛みを感じ、その後腰椎椎間板ヘルニアを発症した。	38	19	611	1~9
27	2016	3	10~11	工場で昇降盤にて材料を加工している時、慌てていて加工部材の選択を誤ってしまったため、難しい加工になり回転している刃に指を当てて切ってしまった。	33	8	131	10~29
28	2016	2	11~12	工場内において、木材を横切りカッターでカットした木片が刃にあたり、それがはね返り目に当たった。	35	6	132	10~29
29	2016	2	10~11	昇降板で仏具の溝切りをしていたところ突然材料がはじかれ押さえていた左手が巻き込まれ指を負傷した。	38	8	131	1~9
30	2016	2	15~16	工場内にあるウレタンフォーム専用の裁断機でウレタンのカット作業をしている時、誤って手を前に出してしまった。そのため回転しているナイフに手が触れ、ナイフで右手の手のひらを切ってしまった。	71	8	169	10~29
31	2016	2	9~	トラックを車庫に取りに行く際、敷地内が凍結しており転倒	37	2	719	1~9

			10	し右足を骨折した。				
32	2016	1	9～ 10	工場内塗装室において、作業台の上に仏壇の部品を置き、塗装するためにコンプレッサーのスイッチを入れて塗装用スプレーガンを右手に持った際、耐圧ホースの接続部分が裂け、塗料が飛び、左目に入ってしまった。	44	12	519	10～ 29
33	2016	1	9～ 10	仏壇部品の加工作業中、木材をまっすぐに整えるため、木工機（手押しかんな盤）を使用していた。右手で材を固定し削っていたところ、材の厚さが薄く固定が不安定であったため手を滑らせてしまい、刃と安全カバーの隙間に右手人さし指が入り込み刃に触れたため、指先を負傷した。	51	8	133	10～ 29
34	2016	1	9～ 10	屋外作業場にて、1/5平台が2m位積み上げられた場所より、最上の1枚を2人で降ろそうと背伸びをした際、腰に電流が走ったような痛みを感じた。	35	19	611	1～9
35	2016	1	14～ 15	生地を裁断する場所でカッターの刃を交換する時に、刃が取り付けられているネジをゆるめようとした際に、誤って刃の方に指を入れてしまい、左手中指を切ってしまった。	46	8	169	50～ 99
36	2015	12	10～ 11	作業中、のこ刃が少し多めに出ていた為、右手親指のおさえがこの刃にふれて切傷した。	66	8	131	1～9
37	2015	11	20～ 21	工場内にて電動のこぎりで木材を切断中、不注意にて右手親指と右手人差し指を負傷する。	34	8	131	10～ 29
38	2015	11	8～9	工場内において、エッチバンダー（木口貼り機）の掃除をしていたところ、同僚が掃除を終了したと思い、声かけをし、作動スイッチのスタートを押した。しかし、まだ被災労働者の指がベルトコンベア上に残っており、左手中指を挟まれ受傷した。	25	7	169	50～ 99
			10～	工場内の資材置場において、棚より資材を降ろす作業中、他の社員より呼び出しがあったため作業を中断し、棚（2段				10～

47	2015	7	11～ 12	裏打ち作業中に社員と接触し、作業台に手をついた時に、肘を捻挫した。	63	3	391	50～ 99
48	2015	7	11～ 12	産業廃棄物コンテナでリノリウムを廃棄中にへり足をかけた所、雨上がりで滑って後のめりになり、1m50cm位の高さから落下し、臀部と腰を強打した。	38	1	391	1～9
49	2015	6	16～ 17	傾斜板で、加工中に、上板に落ちる切端を左手で払い落とそうとした際に、うっかり刃物に接触してしまい、左親指を負傷した。	63	8	131	1～9
50	2015	6	15～ 16	天板の周りに塩ビ製のソフトエッジを取り付け作業中、天板の端よりはみ出した部分をカッターで切り取る際、力加減を誤り勢い余って左手親指にカッターの刃が触れ、切創した。	42	8	364	30～ 49
51	2015	6	16～ 17	倉庫で、コンパネを電気のこぎりで切る作業中に、操作ミスによりのこぎりが止まらなくなり、慌てたためにのこぎりを手放してしまい、それが左足ふくらはぎに当たり負傷した。	67	8	139	10～ 29
52	2015	5	14～ 15	30mmの梓板に側板を固定するため、長さ20mmのタッカーの針で留める作業に従事中、タッカーの不具合により1回の打刻で二つの針が出てきてしまい、トータル40mmの針として板を貫通し、突き出たタッカーの針が梓板を押さえていた左手中指に刺さり受傷した。	31	8	139	10～ 29
53	2015	4	14～ 15	傾斜盤で仏壇に使う部材（250mm）の溝切り加工中、切りすぎたと思って戻そうとした際、部材を押えていた手の力が緩み、その瞬間部材が刃の回転ではじき飛ばされてしまった為、右手が刃に触れ右手指を切創した。	64	8	131	10～ 29
54	2015	4	10～ 11	卓上面取ルーターで製品の面取加工中に回転の反動に負け指を刃物に当ててしまった。	30	8	135	10～ 29
55	2015	3	10～	小屋の解体途中、屋根を1本の柱で支えており、柱の横をチェーンソーで途中まで切り込み、逃げる途中、屋根を支え	25	4	415	1～9

63	2015	2	16～ 17	工場内において、昇降盤を使用して材木を切断中に跳ね返って来た材木が指にあたり負傷した。	34	6	131	10～ 29
64	2015	1	9～ 10	工場内パネルソーを使用し切断作業時、事故発生作業前の作業で、毛引き切りの作業終了後、留め金はずして、戻す手順になっていたが、留め金を取り付けられたままになっていたが、気づかずに切断作業をおこなっていて、のこ刃が上まで上がりきらないうちに手を入れてしまったため右手親指に裂傷をおった。	34	8	131	—
65	2014	11	14～ 15	木取工場にて、BSという機械で材料を加工の際、材料を強く押した手があやまってすべり、左手中指が刃物にあたってしまい切断した。	58	8	132	100～ 299
66	2014	11	16～ 17	作業場所を移動しようとして歩いていた時、板を縛ってあるバンド（KPロープ）がほどけてあったのか、はずれた状態に気付かず、足を引っ掛けこけかけた。その為に、目の前の品物に顔から突っ込みそうになり、それを避けようと踏ん張ったところ、無理な体勢になり腰に激痛がはしった。	42	19	379	1～9
67	2014	11	8～9	スプリング工場線材置き場にて、脚立を使用して線材にホイストを掛けようとしたところ、足を滑らせ転倒し床面に腰部を強打した。	51	1	371	50～ 99
68	2014	10	15～ 16	プレナーで木材を平らに削る作業中、本来左手前方、右手後方で押さえる所を逆手で木材を押さえて前方に押し出していたところ、木材先端が何かに引っかかり、動かなくなった。力を入れて押せば動くと思い、無理に押したところ、突然引っかかりがはずれその瞬間木材を押さえていた右手が前方に滑り勢いがついていて回避できず右手小指が刃にあたり切断した。	24	8	133	1～9
				工場内1階にて傾斜盤で仏壇のシミダンの前板を加工中、反対側から作業した時、前板が前に引っ張られ板を押さえてい				10～

69	2014	10	8～9	た左手の指が刃に触れ左手の中指第2関節から切れ、人差し指の左側を負傷した。	58	8	131	29
70	2014	10	10～11	工場にて昇降盤で木材を切断中に板が滑ってしまい、はずみで押さえていた右手人差し指、中指、薬指がノコに当たってケガをした。	31	8	131	1～9
71	2014	10	10～11	配達先の駐車場内にて、納品後のゴミの片付け及び、荷台の整理を行うために荷台の家具商品を移動していた。その際、梱包用のバンドを握っていたがそのバンドが切れたため体勢が崩れ、荷台から転落して床に左ひじ関節を打ち付けて骨折した。	43	1	221	1～9
72	2014	9	8～9	工場にて溝突き丸ノコ盤にて木材(35×35×4000)を高さ18mm横幅19mmに縦引き作業中、送りローラーを使用せずに手で押していたところ体がふらつき刃に左手親指を当ててしまい負傷した。	55	8	131	10～29
73	2014	9	10～11	機械場にてカッター機を使い成形面取りをしていると木片がカッターに食い込まれ、右手中指がカッターに接触し指先1cm程を失った。	28	8	139	50～99
74	2014	8	10～11	玄関ドア修繕工事において、作業中、高さ50cmの脚立を降りる際、台風による大雨で脚立が濡れていたため誤って足を滑らせて左脚を負傷したもの。	63	1	371	10～29
75	2014	8	9～10	作業場の壁に立てかけていた化粧板約15枚のうち一番奥の一枚を取り出す作業をしていました。二人で化粧板を手で支え、一枚ずつ荷重をかけていき3枚程度荷重をかけた時重いと感じたので三人で作業を進め15枚ほど荷重をかけた時工場長が別の一人に一番奥の板を取るよう指示しましたが、なかなか取れず、工場長が誰か呼んでくるよう指示したものの、来る前に支えていた者達に倒れかかり、2名は逃げるこ	49	7	522	10～29

				とができましたが工場長は家具に頭部を強打、家具と化粧板の両方に頭部を強打し負傷しました。				
76	2014	7	9～ 10	工場内に於いて、木片に溝加工中、左手がカッターの刃に触れて負傷した。	56	8	133	10～ 29
77	2014	7	17～ 18	工場駐車場内にて、トラック積込み作業中、荷台アオリ上に立ち積荷の養生（スチロールボード）している時に、不安定な積み荷が一瞬動き、避難しようと飛び降りた際、踵を負傷した。	42	3	221	10～ 29
78	2014	7	9～ 10	配達先においてディスプレイ用什器を搬入後、固定する作業中に脚立が傾いてバランスを崩し、背中から落下し、胸椎圧迫骨折となった。	34	1	371	1～9
79	2014	7	15～ 16	システムキッチン天板製作時、シンクを取付する際、シンクを頭上に持ち上げて運んでいる途中、台車にぶつかりシンクを台車の上に落とし、その反動でシンクのふちが右太腿にあたり、負傷した。	27	4	529	10～ 29
80	2014	6	14～ 15	仏壇の仕上げ作業中、高さ52cm、幅60cmのローラー台を跨ごうとした時、左足を台に乗せて右足を台に乗せようとしたところ、エアホスのコードに絡んでしまい、そのまま右足を強く床について踵を骨折した。	71	3	224	10～ 29
81	2014	5	11～ 12	昇降盤にて長さ15cm、幅3.6cm、厚さ3.6cmの部材の面取り作業中、部材を押さえていた右手が滑り、刃と接触、負傷した。	50	8	135	30～ 49
82	2014	5	14～ 15	横切機（木材などの切断）でベニアをカットしていた時、切れ端を左手で取り除こうとして、左手親指の先端がノコギリに触れ、負傷した。	36	8	131	10～ 29
83	2014	5	16～	作業終了後、電源の入った機械から異常音が出ていたため、調べようと安全柵の中に入り機械下側（ベルトコンベア）へ	41	7	224	10～

			17	潜り込んだ際、左腕をベルトコンベアに引込まれ、負傷した。				29
84	2014	5	9～ 10	梱包機設備の資材交換時に、誤って天井に頭部をぶつけた。	42	3	521	100～ 299
85	2014	5	14～ 15	額装に必要なマットを作るため布貼りホッパーを裁断中、油圧式の押し切りに手を挟まれ数十分間手が抜けなくなり、強い圧力で挟まれていたため右手人差指の感覚がなく、機械から手を引き抜いた際に3cm程切って縫合した。	39	7	169	10～ 29
86	2014	4	8～9	会社の工房で集塵機のファンの具合が悪かった為、調整しようと手を入れたところ、ファンが回り、左手指を負傷した。	40	7	391	1～9
87	2014	3	17～ 18	昇降盤で材料のかぐ為の試し切りをやろうとした際、材料の添え木のくぼみに挟まってしまい材料が暴れて、工具の刃に指を持っていかれ右手第2指及び3指の第一関節を負傷した。	32	8	131	10～ 29
88	2014	3	18～ 19	組立工場にてマットレスをビニールで梱包する作業中、ビニールのしわを直そうとして右手親指が梱包機下のシールバー隙間に挟まり、右手親指を創傷した。	19	7	169	100～ 299
89	2014	2	14～ 15	工場内で、木口貼りテープ不良のため、テープを剥がすためにカッターナイフを使用したところ、左手を負傷した。	29	8	364	10～ 29
90	2014	2	12～ 13	工場敷地内で午前中の作業が終わり移動の途中、螺旋階段付近のコンクリートの段差に躓いて左足の膝を着き負傷した。	70	2	417	10～ 29
91	2014	2	14～ 15	ウレタンチップを成型してソファを作る工程で、成型型内に資材をセット中、上型が下降し下型との間に挟まり、成型用の蒸気などで火傷、骨折を負う。	65	7	169	10000 ～
92	2014	1	9～ 10	金属加工品の表面処理の工程で、コーティング加工の塗装染料タンクの入替時に、その場所のレールにゴミがあると勘違いをして手を伸ばしそれを取り除こうとした時、タンクと	69	8	371	10～ 29

				レールの上に右手親指を挟み負傷。実際はゴミではなく、染料のシミであった。				
93	2014	1	14～ 15	木工課作業場にて、手押しカンナで木材を直角に切断中、機を押していた手がすべって刃先に触れ、指先を切った。掃除で使用した油が残って滑りやすかったと考えられる。	57	8	133	10～ 29
94	2013	10	20～ 21	昇降盤で45mm巾の木芯を押し棒を用いて半分割りにしていた際、鋸刃に触れ、手親指先を切断した。	34	8	131	30～ 49
95	2013	10	19～ 20	昇降盤を用いて材料(松材20x600x10)の縦割り加工中、材料がのこ刃で跳ね、浮き上がった為、弾みで手親指がのこ刃に触れた。	28	8	131	1～9
96	2013	10	8～9	台車の上にあった集成材(長さ1.8m×幅50cm、高さ3cm、重さ10kg)を両手で持ち上げ、壁に立て掛けようとした際、腰部を痛めた。	36	19	522	10～ 29
97	2013	8	16～ 17	クレーンの作業中、製品を移動する際、進行方向の確認をせず進んだ為、下の製品に躓き、膝を強打した。	46	2	417	30～ 49
98	2013	8	16～ 17	メラミン板を昇降盤にて加工中、材料が跳ねていた為、材料を押えようとしたところ、誤って刃に触れ、手親指を切った。	38	6	131	1～9
99	2013	7	17～ 18	合せ柱等を製作中、材料がしっかりついていなかったため、金槌にて、その部材を叩き、締める作業を行っていたところ、誤って、自分の指先を金槌で叩いた。	25	6	364	1～9
100	2013	7	17～ 18	カッターナイフを用いて襖紙の切断作業中、カッターナイフの刃を交換する為、下部のピンを外し、刃ごと抜き取ろうとした際、勢い良く飛び出し、手の薬指に接触した。	27	8	364	1～9

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各小業種における死傷災害100事例（-2017年）](#)に戻る。